بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 21 巻

サラーフッディーン・アイユービー

エルサレムの解放者 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

قَالَ لَا تَثْرِيبَ عَلَيْكُمُ ٱلْيَوْمَ ۖ يَغْفِرُ ٱللَّهُ لَكُمْ ۖ وَهُوَ أَرْحَمُ ٱلرَّٰحِمِينَ ﴿٩٢﴾

「かれは言った。「今日あなたがたを，（取り立てて）咎めることはありません。アッラーはあなたがたを御赦しになるでしょう。かれは慈悲深き御方の中でも最も優れた慈悲深き御方であられます。」

ユースフ章 12:92

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

御心にかなう者に勝利を授けられるアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善をもってその道に従った人々、とりわけエルサレムの解放者サラーフッディーン・アイユービーに祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 21 巻は、サラーフッディーン・アイユービー（サラディン）の生涯を語ります。ヌールッディーンの弟子としてファーティマ朝を終わらせ、エジプトとシリアを統一し、ヒッティーンで勝利し、慈悲をもってエルサレムを解放し、師のミンバルをアル＝アクサー・モスクに据え、第 3 回十字軍に耐え、わずか 47 ディルハムを残して亡くなった人物です。快くない出来事や確かでない伝説も含め、その物語は典拠について正直に語られています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは、オリーブ山の石のテラスから見た夕暮れの***エルサレムの旧市街***で、城壁、石造りの家々、ミナレット、オリーブとイトスギの木々、そして谷を覆う金色のもやが見えます。

その中心には金色の***岩のドーム***が輝き、その隣のハラム・シャリーフの広場には灰色のドームの***アル＝アクサー・モスク***があります。サラーフッディーンがヒジュラ暦 583 年ラジャブ月 27 日に解放した町です。

手前には、幾何学的な星模様の***彫刻された木の板***――サラーフッディーンがアル＝アクサー・モスクに据えた***ヌールッディーンのミンバル***を思い起こさせます――、墨と葦ペンを添えた***手書きの本***、***たたんだ白い布***、革の鞘に入った***曲刀***、町の降伏の象徴である***古い鉄の鍵***、そして***真鍮の油ランプ***が置かれています。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 20 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

サラーフッディーン・アイユービー 5
1. サラーフッディーンとは誰か 6
2. ティクリートからダマスカスへ 7
3. エジプト——ファーティマ朝を終わらせた宰相 8
4. エジプトとシリアの統一 9
5. なぜエルサレムなのか 10
6. ルノーと破られた協定 12
7. ヒッティーンの戦い 14
8. エルサレムの解放 16
9. 敗れた者への慈悲 19
10. 捕虜の解放 21
11. アル＝アクサーでの最初の金曜日とヌールッディーンのミンバル 23
12. 第 3 回十字軍——アッコン 25
13. サラーフッディーンとリチャード——尊敬される敵 27
14. ラムラ協定 28
15. 確かでない物語 29
16. 47 ディルハムを残して 30
17. サラーフッディーンの物語の典拠 33
18. 人物・場所・年表 35
19. サラーフッディーンについてのよくある質問 37
20. 教訓と結び 39
参考文献 40
支援と寄付 41

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

サラーフッディーン・アイユービー

ヒジュラ暦 583 年ラジャブ月 27 日の金曜日（西暦 1187 年 10 月 2 日）――夜の旅（イスラーとミウラージュ）の記念日――、*サラーフッディーン・アイユービー*は、88 年間十字軍の手にあったエルサレムに入りました。十字軍がヒジュラ暦 492 年にこの町を奪ったとき、通りは血に染まりました。今度は虐殺はありませんでした。住民は身代金を払って安全に去ることを許され、何千人もの貧しい人々が身代金なしで解放されました。

サラーフッディーン（ヒジュラ暦 532–589 年／西暦 1138–1193 年）は、ヌールッディーン・ザンギー（第 20 巻）の弟子です。エジプトのファーティマ朝を終わらせ、エジプトとシリアを統一し、ヒッティーンで十字軍を破り、エルサレムを解放し、ヌールッディーンのミンバルをアル＝アクサー・モスクに据え、第 3 回十字軍に耐えました。亡くなったとき、その国庫にはわずか 47 ディルハムと一枚の金貨しかありませんでした。

この電子書籍は『*イスラームの英雄*』シリーズの第 21 巻です。サラーフッディーンの物語は、彼にごく近い典拠に由来します。裁判官のバハーウッディーン・イブン・シャッダード、書記のイマードゥッディーン・イスファハーニー、そしてイブン・アル＝アスィールとアブー・シャーマです。すべての物語の典拠と等級を――ヒッティーンの後の捕虜の処刑のような快くない出来事や、サラーフッディーンとリチャードについての確かでない伝説も含めて――正直に示し、その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

サラーフッディーンの物語は、慈悲をともなう勝利の物語です。指揮官は人格を失わずに勝つことができるという証しです。

サラーフッディーンとは誰か

彼の本名は*ユースフ・ブン・ナジュムッディーン・アイユーブ・ブン・シャーズィー*です。クルド人の家系で、ヒジュラ暦 532 年（西暦 1137/1138 年）、ティグリス川のほとりの*ティクリート*で生まれました。父*ナジュムッディーン・アイユーブ*と叔父*アサドゥッディーン・シールクーフ*は、ザンギー、のちにヌールッディーンの軍の指揮官でした。

彼は*サラーフッディーン*（「宗教の正しさ」）、*アル＝マリク・アン＝ナースィル*（「勝利をもたらす王」）という称号で知られました。クンヤはアブー・アル＝ムザッファルです。ヨーロッパの言語では*サラディン*として知られています。

名前と称号

名前・称号	説明
ユースフ・ブン・アイユーブ	本名
サラーフッディーン	「宗教の正しさ」
アル＝マリク・アン＝ナースィル	「勝利をもたらす王」
アブー・アル＝ムザッファル	クンヤ
サラディン	ヨーロッパの言語での名

教訓

家系が偉大さを決めるのではありません。ティクリートのクルド人の少年が、ウンマ全体に記憶される指導者となりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

ティクリートからダマスカスへ

歴史の注：ヌールッディーンの宮廷で育つ

アイユーブの一家は、サラーフッディーンが生まれた年にティクリートを去り、イマードゥッディーン・ザンギーに仕えました。ナジュムッディーン・アイユーブはのちにバールベックの総督となり、ヒジュラ暦 549 年にダマスカスがヌールッディーンのもとに統一されると、一家はダマスカスに落ち着きました。

サラーフッディーンはダマスカスで育ち、クルアーン、ハディース、礼儀を学び、乗馬とポロの訓練を受けました。イブン・シャッダードは、彼が詩集『ハマーサ』を暗記し、ハディースを聞くことをとても好んだと記しています。若いころは大きな野心で知られてはいませんでした。その指導力は、責任が彼の肩に置かれたときに現れたのです。

伝承の等級： とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』。

教訓

よい環境は人格を形づくります。サラーフッディーンは公正な王のもとで育ちました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

エジプト――ファーティマ朝を終わらせた宰相

歴史の注：若き将校から宰相へ

サラーフッディーンは、ヌールッディーンのエジプト遠征で叔父シールクーフに従いました。第 2 回の遠征（ヒジュラ暦 562 年）では、十字軍とファーティマ朝の包囲に対して*アレクサンドリア*を 2 か月以上守り抜きました。

ヒジュラ暦 564 年（西暦 1169 年）、シールクーフはエジプトの宰相となりましたが、2 か月後に亡くなりました。ファーティマ朝のカリフは、当時約 31 歳のサラーフッディーンを宰相に任命しました。イブン・アル＝アスィールは、それ以来彼が酒と遊びをやめ、真剣な務めに身をささげたと記しています。

ヒジュラ暦 567 年（西暦 1171 年）、ヌールッディーンの命により、エジプトの金曜説教はアッバース朝カリフの名で読まれ、2 世紀以上続いたファーティマ朝は終わりました。サラーフッディーンはエジプトに学院を建て、カイロの城塞の建設も始めました。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アル＝アスィール『完史』；アブー・シャーマ『二つの園の書』。

教訓

大きな責任は人を変えます。サラーフッディーンは、務めが真剣さを求めたとき、安楽を捨てました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

エジプトとシリアの統一

歴史の注：15 年にわたる統一

ヒジュラ暦 569 年にヌールッディーンが亡くなると、その領土は将軍たちの間で分かれ、息子のサーリフ・イスマーイールはまだ子どもでした。***ヒジュラ暦 570 年***（西暦 1174 年）、サラーフッディーンはダマスカスに入りました。その後の年月に、ホムス、ハマー、***アレッポ***（ヒジュラ暦 579 年）を統一し、ついに***モースル***の服属を受けました（ヒジュラ暦 581 年）。

この統一はムスリム同士の戦いなしには実現せず、ザンギー家に好意的だったイブン・アル＝アスィールをはじめ、歴史家たちはその一部を批判しました。それでも結果として、初めてエジプト、シリア、ジャズィーラが一つの指導のもとにまとまり、十字軍国家を四方から囲みました。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；アブー・シャーマ『二つの園の書』。

教訓

団結には長い忍耐が必要です。正直な歴史は、その成果も、それへの批判も記録します。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

なぜエルサレムなのか

歴史の注：十字軍のもとでの 88 年

十字軍は***ヒジュラ暦 492 年***シャアバーン月（西暦 1099 年 7 月）にエルサレムを奪いました。ムスリムとラテン語の史料はともに、ムスリムとユダヤ教徒の住民に対する大虐殺を伝えています。イブン・アル＝アスィールはアル＝アクサー・モスクで 7 万人が殺されたと記していますが、現代の歴史家はこの数字を誇張と考えつつも、虐殺が凄惨であったことでは一致しています。

88 年の間、岩のドームは教会にされ、アル＝アクサー・モスクは宮殿とテンプル騎士団の本部にされました。その解放は、ザンギー、ヌールッディーン、そしてサラーフッディーンの目標となりました。

伝承の等級： 出来事は歴史的に確かですが、正確な犠牲者数には議論があります。

参照：

イブン・アル＝アスィール『完史』；『ゲスタ・フランコールム』などのラテン語史料。

アル＝アクサー・モスクは、最も尊い三つのモスクの一つです。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1189 番

حَدَّثَنَا عَلِيٌّ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ سَعِيدٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " لاَ تُشَدُّ الرِّحَالُ إِلاَّ إِلَى ثَلاَثَةِ مَسَاجِدَ الْمَسْجِدِ الْحَرَامِ، وَمَسْجِدِ الرَّسُولِ صلى الله عليه وسلم وَمَسْجِدِ الأَقْصَى ".

訳：

アブー・フライラの伝えるところでは、預言者 ﷺ はこう言われました。 *「（礼拝のための）旅は、三つのモスクにのみ向けなさい。聖なるマスジド、使徒 ﷺ のマスジド、そしてアル＝アクサー・モスクである。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アリー・ブン・アル＝マディーニー ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← イブン・シハーブ・ズフリー ← サイード・ブン・アル＝ムサイヤブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』マッカとマディーナのモスクでの礼拝の美徳の書、第 1189 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:1189

教訓

アル＝アクサーは単なる土地ではなく、このウンマの信仰の一部です。

ルノーと破られた協定

歴史の注：協定を破る者

サラーフッディーンはエルサレム王国と和平協定を結んでいました。しかしカラクの領主*ルノー・ド・シャティヨン*（アラビア語史料ではアルナート）は、それを何度も破りました。ヒジュラ暦 578 年には紅海に船を送り、マッカとマディーナへの道を脅かしました。

ヒジュラ暦 582 年ごろ、協定がまだ有効なうちに、ルノーは大きな隊商を襲い、旅人たちを捕らえ、イブン・シャッダードによれば彼らをあざけって言いました。「ムハンマドに救ってもらえ。」これを聞いたサラーフッディーンは、アッラーが自分に力を与えられたなら、ルノーを自らの手で殺すと誓いました。

伝承の等級： とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イスラームは、非ムスリムとの協定を含め、協定を重く見ます。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3166 番

حَدَّثَنَا قَيْسُ بْنُ حَفْصٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَاحِدِ، حَدَّثَنَا الْحَسَنُ بْنُ عَمْرٍو، حَدَّثَنَا مُجَاهِدٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو ـ رضى الله عنهما ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَنْ قَتَلَ مُعَاهَدًا لَمْ يَرَحْ رَائِحَةَ الْجَنَّةِ، وَإِنَّ رِيحَهَا تُوجَدُ مِنْ مَسِيرَةِ أَرْبَعِينَ عَامًا ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・アムルの伝えるところでは、預言者 ﷺ はこう言われました。

「ムアーハド（ムスリムと協定を結んだ非ムスリム）を殺した者は、楽園の香りをかぐことはない。その香りは 40 年の道のりの距離からでも感じられるのに。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：カイス・ブン・ハフス ← アブドゥルワーヒド・ブン・ズィヤード ← ハサン・ブン・アムル ← ムジャーヒド・ブン・ジャブル ← アブドゥッラー・ブン・アムル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジズヤの書、第 3166 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3166

教訓

協定は預かりものです。ムスリムは、相手が裏切ってもそれを守ります。

ヒッティーンの戦い

歴史の注：ヒジュラ暦 583 年ラビーウ・アル＝アーヒル月 24 日

ヒジュラ暦 583 年の夏、サラーフッディーンはティベリアを包囲しました。***ギー・ド・リュジニャン***王率いる十字軍は、町を救うため乾いた平原を進みました。サラーフッディーンは彼らを水から遮断しました。***西暦 1187 年 7 月 4 日***（ヒジュラ暦 583 年ラビーウ・アル＝アーヒル月 24 日）、ガリラヤ湖近くの***ヒッティーン***の双子の丘で、渇きと疲れに苦しむ十字軍は敗れました。ギー王と多くの貴族が捕らえられました。

イブン・シャッダードとイマードゥッディーンによれば、ギー王はサラーフッディーンの天幕に連れて来られ、サラーフッディーンは彼に冷たい水を与えました。ギーはその水をルノーに渡しました。サラーフッディーンは、ルノーに水を与えたのは自分ではないと言いました――アラブの慣習では、主人から水を与えられた捕虜は安全を保障されたのです。そしてサラーフッディーンは、裏切りとあざけりのゆえにルノーを殺し、ギー王を安心させて言いました。「王は王を殺さないものだ。」

同じ史料は、サラーフッディーンが、捕らえたテンプル騎士団と聖ヨハネ騎士団の騎士――約 200 人――を、ムスリムに最も敵対する戦士とみなして処刑するよう命じたことも記しています。本当の歴史は快くないことも隠さないため、ここに正直に記します。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；イマードゥッディーン・イスファハーニー『聖都征服におけるクッス的雄弁』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

教訓

大きな勝利は長い準備の後に訪れます。正直な歴史は、指揮官の気高さも厳しさも記録します。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

エルサレムの解放

歴史の注：ヒジュラ暦 583 年ラジャブ月 27 日

ヒッティーンの後、沿岸の町々は次々と陥落しました。ヒジュラ暦 583 年ラジャブ月、サラーフッディーンはエルサレムを包囲しました。守将の*バリアン・ディブラン*は、安全の保障がなければムスリム捕虜を殺し、岩のドームを破壊すると脅しました。サラーフッディーンは助言者たちと協議し、町の平和的な降伏を受け入れました。

条件は、男性は 10 ディナール、女性は 5 ディナール、子どもは 2 ディナールの身代金を払い、財産を持って 40 日以内に退去する、というものでした。***ヒジュラ暦 583 年ラジャブ月 27 日***の金曜日（西暦 1187 年 10 月 2 日）、サラーフッディーンはエルサレムに入りました。夜の旅の記念日でした。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；イマードゥッディーン・イスファハーニー『聖都征服におけるクッス的雄弁』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

戦いのさなかでも、アッラーの使徒 ﷺ は女性と子どもを殺すことを禁じられました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3015 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، قَالَ قُلْتُ لأَبِي أُسَامَةَ حَدَّثَكُمْ عُبَيْدُ اللَّهِ، عَنْ نَافِعٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ وُجِدَتِ امْرَأَةٌ مَقْتُولَةً فِي بَعْضِ مَغَازِي رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، فَنَهَى رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم عَنْ قَتْلِ النِّسَاءِ وَالصِّبْيَانِ.

訳：

イブン・ウマルは言いました。アッラーの使徒 ﷺ のある遠征で、殺された女性が見つかった。そこで*アッラーの使徒ﷺ は女性と子どもを殺すことを禁じられた。*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・イブラーヒーム（イブン・ラーハワイ） ← アブー・ウサーマ・ハンマード・ブン・ウサーマ ← ウバイドゥッラー・ブン・ウマル ← イブン・ウマルの解放奴隷ナーフィウ ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 3015 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3015

サラーフッディーンの態度は、預言者ユースフ عَلَيْهِ السَّلَامُ が自分を虐げた兄弟たちに語った言葉を思い起こさせます。

ユースフ章 12:92

قَالَ لَا تَثْرِيبَ عَلَيْكُمُ ٱلْيَوْمَ ۖ يَغْفِرُ ٱللَّهُ لَكُمْ ۖ وَهُوَ أَرْحَمُ ٱلرَّٰحِمِينَ ﴿٩٢﴾

かれは言った。「今日あなたがたを，（取り立てて）咎めることはありません。アッラーはあなたがたを御赦しになるでしょう。かれは慈悲深き御方の中でも最も優れた慈悲深き御方であられます。

訳：三田了一 — quran.com/12:92

預言者伝の書物には、アッラーの使徒 ﷺ がマッカ征服の日にマッカの人々にこの言葉を繰り返されたと伝えられています。この伝承は預言者伝で有名ですが、その伝承経路についてはハディース学者の間で議論があります。

教訓

本当の勝利とは、復讐なしに町が開かれることです。

敗れた者への慈悲

歴史の注：町の門での慈しみ

貧しい人々の多くは身代金を払えませんでした。イブン・アル＝アスィールとイマードゥッディーンによれば、バリアンは何千人もの貧しい人々を解放するために多額の金を払いました。サラーフッディーンの弟***アーディル***は千人を贈り物として求め、全員を解放しました。サラーフッディーン自身も、払えない多くの老人を解放しました。

また、殺されたり捕らえられたりした騎士の妻や娘たちが泣きながら彼のもとに来たと伝えられます。サラーフッディーンは生きている夫や父を解放し、未亡人や孤児に財を与えました。同時代のキリスト教徒の年代記作者も彼の寛大さを記録しています。聖墳墓教会は破壊されず、地元のキリスト教徒はとどまることを許されました。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アル＝アスィール『完史』；イマードゥッディーン・イスファハーニー『聖都征服におけるクッス的雄弁』；同時代のラテン語史料。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サラーフッディーンの慈悲は、アッラーの使徒 ﷺ の教えの実りでした。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 6013 番

حَدَّثَنَا عُمَرُ بْنُ حَفْصٍ، حَدَّثَنَا أَبِي، حَدَّثَنَا الأَعْمَشُ، قَالَ حَدَّثَنِي زَيْدُ بْنُ وَهْبٍ، قَالَ سَمِعْتُ جَرِيرَ بْنَ عَبْدِ اللَّهِ، عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَنْ لاَ يَرْحَمُ لاَ يُرْحَمُ ".

訳：

ジャリール・ブン・アブドゥッラーの伝えるところでは、預言者 ﷺ はこう言われました。*「慈しまない者は、慈しまれない。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ウマル・ブン・ハフス ← ハフス・ブン・ギヤース ← スライマーン・アアマシュ ← ザイド・ブン・ワハブ ← ジャリール・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼儀の書、第 6013 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:6013

同じ町での二つの出来事を比べてみてください。ヒジュラ暦 492 年の虐殺と、ヒジュラ暦 583 年の慈悲です。

教訓

指導者の人格は、敵に対して力を持ったときに最もはっきりと現れます。

捕虜の解放

歴史の注：牢獄の扉が開かれる

イマードゥッディーンは、エルサレムには何年も囚われていた多くのムスリム捕虜がいたと記しています。その解放は町の降伏条件の一つであり、サラーフッディーンの軍が入ると彼らは自由になりました。遠征を通じて、サラーフッディーンはヒッティーンの後に開いた沿岸の町々からも何千人ものムスリム捕虜を解放しました。

伝承の等級： とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イマードゥッディーン・イスファハーニー『聖都征服におけるクッス的雄弁』；イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』。

捕虜を解放することは、アッラーの使徒 ﷺ の命令です。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3046 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، حَدَّثَنَا جَرِيرٌ، عَنْ مَنْصُورٍ، عَنْ أَبِي وَائِلٍ، عَنْ أَبِي مُوسَى ـ رضى الله عنه ـ قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " فُكُّوا الْعَانِيَ ـ يَعْنِي الأَسِيرَ ـ وَأَطْعِمُوا الْجَائِعَ وَعُودُوا الْمَرِيضَ ".

訳：

アブー・ムーサーの伝えるところでは、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。 *「捕虜を解放し、飢えた者に食べさせ、病人を見舞いなさい。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：クタイバ・ブン・サイード ← ジャリール・ブン・アブドゥルハミード ← マンスール・ブン・アル＝ムウタミル ← アブー・ワーイル・シャキーク・ブン・サラマ ← アブー・ムーサー・アシュアリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 3046 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3046

教訓

兄弟たちが鎖につながれている限り、勝利は完全ではありません。

アル＝アクサーでの最初の金曜日とヌールッディーンのミンバル

歴史の注：アザーンが再び響く

岩のドームの上の大きな十字架は降ろされ、アル＝アクサー・モスクは清められ、バラ水で浄められました。ヒジュラ暦 583 年シャアバーン月 4 日の金曜日、88 年ぶりにアル＝アクサーで最初の金曜礼拝が行われました。説教はダマスカスの裁判官ムヒーッディーン・イブン・アッ＝ザキーが行い、イマードゥッディーンは人々が喜びに涙したと描いています。

サラーフッディーンはその後、*ヌールッディーンのミンバル*をアレッポから運んでアル＝アクサー・モスクに据えるよう命じました。14 年前に亡くなった師の意図を果たしたのです（第 20 巻参照）。

伝承の等級： とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イマードゥッディーン・イスファハーニー『聖都征服におけるクッス的雄弁』；アブー・シャーマ『二つの園の書』；イブン・ハッリカーン『名士列伝』。

勝利の後、アッラーは傲慢ではなく、賛美と赦しを請うことを命じておられます。

援助章 110:3

فَسَبِّحْ بِحَمْدِ رَبِّكَ وَٱسْتَغْفِرْهُ ۚ إِنَّهُۥ كَانَ تَوَّابًۢا ﴿٣﴾

あなたの主の栄光を誉め称え，また御赦しを請え。本当にかれは，度々赦される御方である。

訳：三田了一 — quran.com/110:3

教訓

勝利はひれ伏しと赦しの祈りで迎えられます。そして師の約束は弟子によって果たされます。

第 3 回十字軍――アッコン

歴史の注：アッコンでの 2 年

エルサレムの陥落は、イングランド、フランス、ドイツの王たちが率いる***第 3 回十字軍***を引き起こしました。ヒジュラ暦 585 年から 587 年（西暦 1189–1191 年）にかけて、十字軍は***アッコン***（アッカ）を包囲し、サラーフッディーンは外側から彼らを包囲しました。そばにいたイブン・シャッダードは、サラーフッディーンが病に倒れながらも戦場を離れなかったと記しています。

アッコンはヒジュラ暦 587 年ジュマーダー・アル＝アーヒラ月（西暦 1191 年 7 月）に降伏しました。身代金の交渉が遅れると、イングランド王***リチャード 1 世***は、アッコンのムスリム捕虜約 2,700 人をムスリム軍の目の前で殺すよう命じました。イブン・シャッダードはこの出来事を深い悲しみとともに記録しています。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；イブン・アル＝アスィール『完史』；同時代のラテン語史料。

クルアーンは同等の報復を許しつつ、忍耐のほうがよいと告げています。

蜜蜂章 16:126

وَإِنْ عَاقَبْتُمْ فَعَاقِبُوا۟ بِمِثْلِ مَا عُوقِبْتُم بِهِۦ ۖ وَلَئِن صَبَرْتُمْ لَهُوَ خَيْرٌ لِّلصَّٰبِرِينَ ﴿١٢٦﴾

もしあなたがたが罰するなら，あなたがたが悩まされたように罰しなさい。だがあなたがたがもし耐え忍ぶならば，それは耐え忍ぶ者にとって最も善いことである。

訳：三田了一 — quran.com/16:126

アッコンの出来事がどれほど苦いものであっても、サラーフッディーンは自らの領土のキリスト教徒住民を虐殺して報復することはありませんでした。

教訓

敵の不正は、私たちがよい人格を捨てることを許すものではありません。

サラーフッディーンとリチャード——尊敬される敵

歴史の注：戦いのさなかの贈り物

サラーフッディーンとリチャードは一度も直接会っていませんが、リチャードと何度も会って交渉したサラーフッディーンの弟*アーディル*を通じて文書を交わしました。イブン・シャッダードはこれらの交渉を詳しく記録しています。

リチャードが熱を出したとき、サラーフッディーンは果物と山の雪を送ったと伝えられます。ラテン語史料も、リチャードの馬がヤッファで殺されたとき、ムスリム側から 2 頭の馬が送られたと記しています。これらの話は敵対のさなかの礼儀を示していますが、細部は史料によって異なります。

*アルスーフ*の戦い（ヒジュラ暦 587 年）でリチャードはサラーフッディーンの軍を破りましたが、エルサレムを取ることは決してできませんでした。

伝承の等級： 交渉と贈り物のやりとりは同時代の史料に記されていますが、一部の話の細部は史料によって異なります。

参照：

イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；『イティネラリウム・ペレグリノルム』などのラテン語史料。

教訓

敵対は礼儀を消し去りません。最も恐れられ、最も尊敬される敵とは、強く、かつ気高い者です。

ラムラ協定

歴史の注：エルサレムを守った和平

両者とも疲れ果てていました。***ヒジュラ暦 588 年***シャアバーン月（西暦 1192 年 9 月）、サラーフッディーンとリチャードは 3 年 8 か月の***ラムラ協定***を結びました。十字軍はティルスからヤッファまでの沿岸地帯を保ち、***エルサレムはムスリムの手に残り***、キリスト教徒の巡礼者は平和のうちにそこを訪れることを許されました。

イブン・シャッダードは、一部の将軍が戦いを続けることを望んだものの、サラーフッディーンは長く苦しんできた民と軍のために和平を受け入れたと記しています。協定の後、彼はそれを完全に守りました。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：
イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

教訓

知恵には、和平のほうが有益なときに和平を結ぶ勇気と、協定を守る誠実さが必要です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

確かでない物語

典拠の注：サラーフッディーンをめぐる伝説

サラーフッディーンのヨーロッパでの名声は、多くの伝説を生みました。最もよく知られているのは、ウォルター・スコットの小説*『タリスマン』*（1825 年）で、サラーフッディーンが医者に変装してリチャードを治療し、二人が会って剣の腕前を披露する場面が描かれています。これはすべて小説の創作であり、二人は一度も会っていません。

サラーフッディーンとリチャードの一騎打ちの話や、中世ヨーロッパ文学のロマンス的な物語も同様です。これらの話は、イブン・シャッダード、イマードゥッディーン、あるいは信頼できるラテン語史料など、同時代の典拠には見られません。

伝承の等級： 文学的創作であり、確かではない。

参照：

イブン・シャッダード、イマードゥッディーン・イスファハーニー、同時代のラテン語史料との比較。

教訓

サラーフッディーンが英雄であるために伝説は必要ありません。本当の歴史だけで十分に気高いのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

47 ディルハムを残して

歴史の注：ヒジュラ暦 589 年サファル月 27 日

ラムラ協定の数か月後、サラーフッディーンはダマスカスで病に倒れ、***ヒジュラ暦 589 年サファル月 27 日***（西暦 1193 年 3 月 4 日）、約 55 歳で亡くなりました。そばにいたイブン・シャッダードは、クルアーンの節が読まれると彼の顔が輝いたと記しています。

イブン・シャッダードは、サラーフッディーンが国庫に***47 ディルハム***と一枚の金貨のほかは何も残さなかったと書いています——家も、土地も、果樹園も、ほかの財産もありませんでした。死装束と埋葬の費用は借りなければなりませんでした。彼はほとんどすべての財をジハード、学院、施しに費やしていたのです。彼の墓はダマスカスのウマイヤ・モスクの隣にあります。

伝承の等級：とくにサラーフッディーンに同行した裁判官で目撃者であるバハーウッディーン・イブン・シャッダードの『スルタンの珍しき話』や、書記イマードゥッディーン・イスファハーニーの著作などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話』；アブー・シャーマ『二つの園の書』；イブン・ハッリカーン『名士列伝』。

彼は、その手本であるアッラーの使徒ﷺのように亡くなりました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2739 番

حَدَّثَنَا إِبْرَاهِيمُ بْنُ الْحَارِثِ، حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَبِي بُكَيْرٍ، حَدَّثَنَا زُهَيْرُ بْنُ مُعَاوِيَةَ الْجُعْفِيُّ، حَدَّثَنَا أَبُو إِسْحَاقَ، عَنْ عَمْرِو بْنِ الْحَارِثِ، خَتَنِ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم أَخِي جُوَيْرِيَةَ بِنْتِ الْحَارِثِ قَالَ مَا تَرَكَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم عِنْدَ مَوْتِهِ دِرْهَمًا وَلاَ دِينَارًا وَلاَ عَبْدًا وَلاَ أَمَةً وَلاَ شَيْئًا، إِلاَّ بَغْلَتَهُ الْبَيْضَاءَ وَسِلاَحَهُ وَأَرْضًا جَعَلَهَا صَدَقَةً.

訳：

アッラーの使徒 ﷺ の妻ジュワイリヤ・ビント・アル＝ハーリスの兄弟アムル・ブン・アル＝ハーリスは言いました。*アッラーの使徒ﷺ は亡くなるとき、ディルハムもディナールも、男女の奴隷も、ほかの何も残されなかった。ただ白いラバと武器、そして施しとされた土地だけであった。*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イブラーヒーム・ブン・アル＝ハーリス ← ヤフヤー・ブン・アビー・ブカイル ← ズハイル・ブン・ムアーウィヤ・ジュウフィー ← アブー・イスハーク・サビーイー ← アムル・ブン・アル＝ハーリス رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遺言の書、第 2739 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2739

サラーフッディーンの資質と人柄

資質	彼の物語からの例
寛大	47 ディルハムを残して亡くなったこと
慈悲深い	貧しい人々の解放と未亡人への施し
約束を守る	ラムラ協定
裏切り者に厳しい	ルノー・ド・シャティヨン
師に忠実	アル＝アクサーのヌールッディーンのミンバル

資質	彼の物語からの例
忍耐強い	病をおしてアッコンで 2 年耐えたこと

教訓

最も価値ある財とは、アッラーの道に費やされたものです。サラーフッディーンはほとんど財を残さずこの世を去りましたが、解放されたエルサレムを残しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サラーフッディーンの物語の典拠

この表は、読者が真正なものと単に有名なものを見分けられるよう、それぞれの物語の典拠と等級をまとめたものです。

物語	典拠	等級
エジプトの宰相；ファーティマ朝の終わり（ヒジュラ暦 567 年）	イブン・アル＝アスィール；アブー・シャーマ	歴史
エジプトとシリアの統一	イブン・アル＝アスィール；イブン・シャッダード	歴史
最も尊い三つのモスク	『サヒーフ・ブハーリー』1189	サヒーフ
ルノーが協定を破る	イブン・シャッダード	歴史
ムアーハドを殺すこと	『サヒーフ・ブハーリー』3166	サヒーフ
ヒッティーン；ギー王への水（ヒジュラ暦 583 年）	イブン・シャッダード；イマードゥッディーン	歴史
エルサレムの降伏（ヒジュラ暦 583 年ラジャブ月 27 日）	イブン・シャッダード；イマードゥッディーン；イブン・アル＝アスィール	歴史
女性と子どもを殺すことの禁止	『サヒーフ・ブハーリー』3015	サヒーフ
貧しい人々と未亡人への慈悲	イブン・アル＝アスィール；イマードゥッディーン	歴史
慈しまない者は慈しまれない	『サヒーフ・ブハーリー』6013	サヒーフ
捕虜を解放しなさい	『サヒーフ・ブハーリー』3046	サヒーフ
最初の金曜日；ヌールッディーンのミンバル	イマードゥッディーン；アブー・シャーマ	歴史
アッコン；捕虜の殺害（ヒジュラ暦 587 年）	イブン・シャッダード；ラテン語史料	歴史

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

物語	典拠	等級
ラムラ協定（ヒジュラ暦 588 年）	イブン・シャッダード；イブン・アル＝アスィール	歴史
医者に変装したサラーフッディーン	ウォルター・スコット『タリスマン』（1825 年）	確かでない
47 ディルハムを残しての死（ヒジュラ暦 589 年）	イブン・シャッダード	歴史

人物・場所・年表

人物	役割
ナジュムッディーン・アイユーブ	サラーフッディーンの父
アサドゥッディーン・シールクーフ	叔父；エジプトの宰相（ヒジュラ暦 564 年）
ヌールッディーン・ザンギー	師であり主君（第 20 巻）
アーディル・サイフッディーン	サラーフッディーンの弟；リチャードとの交渉役
バハーウッディーン・イブン・シャッダード	裁判官、伝記作者
イマードゥッディーン・イスファハーニー	書記、歴史家
ルノー・ド・シャティヨン	カラクの領主；協定を破った者
ギー・ド・リュジニャン	エルサレム王；ヒッティーンで捕虜となる
バリアン・ディブラン	交渉したエルサレムの守将
リチャード 1 世	第 3 回十字軍のイングランド王

場所	出来事
ティクリート	生誕地（ヒジュラ暦 532 年）
カイロ	宰相；ファーティマ朝の終わり（ヒジュラ暦 567 年）
ヒッティーン	大勝利（ヒジュラ暦 583 年）
エルサレム	解放（ヒジュラ暦 583 年ラジャブ月 27 日）
アッコン（アッカ）	2 年にわたる包囲（ヒジュラ暦 585–587 年）
ラムラ	和平協定（ヒジュラ暦 588 年）
ダマスカス	死去と墓所（ヒジュラ暦 589 年）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

年	出来事
ヒジュラ暦 492 年	十字軍がエルサレムを奪う
ヒジュラ暦 532 年	サラーフッディーン、ティクリートで誕生
ヒジュラ暦 564 年	エジプトの宰相となる
ヒジュラ暦 567 年	ファーティマ朝の終わり
ヒジュラ暦 570 年	ヌールッディーンの死後ダマスカスに入る
ヒジュラ暦 583 年	ヒッティーンとエルサレムの解放
ヒジュラ暦 585–587 年	アッコンの包囲；第 3 回十字軍
ヒジュラ暦 588 年	ラムラ協定
ヒジュラ暦 589 年	ダマスカスで死去

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サラーフッディーンについてのよくある質問

この章では、サラーフッディーンについてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔です。詳しくはこれまでの章をご覧ください。

1. サラーフッディーンとは誰ですか。

ヒジュラ暦 583 年にエルサレムを十字軍から解放した、エジプトとシリアの統治者（ヒジュラ暦 564–589 年）です。

2. ヌールッディーン・ザンギーとはどんな関係でしたか。

ヌールッディーンに育てられてエジプトに送られ、その戦いを受け継ぎました。

3. どこで生まれましたか。

ヒジュラ暦 532 年、イラクのティクリートで、クルド人の家に生まれました。

4. ヒッティーンで何が起きましたか。

ヒジュラ暦 583 年ラビーウ・アル＝アーヒル月 24 日（西暦 1187 年 7 月 4 日）、十字軍を破り、ギー王を捕らえました。

5. エルサレムはいつ解放されましたか。

ヒジュラ暦 583 年ラジャブ月 27 日の金曜日（西暦 1187 年 10 月 2 日）、夜の旅の記念日でした。

6. エルサレムの住民は殺されましたか。

いいえ。身代金を払って安全に去ることを許され、何千人もの貧しい人々が身代金なしで解放されました。

7. ルノーはなぜ殺されたのですか。

協定を繰り返し破り、隊商を襲い、アッラーの使徒ﷺをあざけったためです。

8. サラーフッディーンはリチャードに会いましたか。

いいえ。アーディルを通じて交渉しました。二人が会った話は小説の創作です。

9. ラムラ協定とは何ですか。

エルサレムをムスリムの手に残した、ヒジュラ暦 588 年の和平協定です。

10. ヌールッディーンのミンバルとはどう関係していますか。

サラーフッディーンは解放後、ヌールッディーンが作らせたミンバルをアル＝アクサー・モスクに据えました。

11. 彼はどれだけの財を残しましたか。

イブン・シャッダードによれば、わずか 47 ディルハムと一枚の金貨でした。

12. 彼の物語の最大の教訓は何ですか。

本当の勝利は、慈悲、協定への誠実さ、そしてアッラーへの謙虚さをともなうということです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

サラーフッディーンの物語は、師の目標を果たした弟子、復讐せずに勝った指揮官、そしてほとんど財を残さず亡くなった王の物語です。

教訓	サラーフッディーンの物語から
アル＝アクサーの尊さ	『サヒーフ・ブハーリー』1189
協定を守ること	ルノー；ラムラ；『サヒーフ・ブハーリー』3166
戦いの倫理	『サヒーフ・ブハーリー』3015
力ある時に赦すこと	エルサレム；ユースフ章 12:92
弱い者への慈悲	貧しい人々と未亡人；『サヒーフ・ブハーリー』6013
捕虜の解放	『サヒーフ・ブハーリー』3046
勝利の後の赦しの祈り	最初の金曜日；援助章 110:3
報復より忍耐がよい	アッコン；蜜蜂章 16:126
現世への執着を捨てること	47 ディルハム；『サヒーフ・ブハーリー』2739
典拠への誠実さ	確かでない伝説

私たちがサラーフッディーンにならい、裏切り者に厳しく、弱い者に慈悲深く、約束に誠実で、現世に執着しない者となれますように。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、サイフッディーン・クトゥズの物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン版の正書法と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（ユースフ章 12:92；蜜蜂章 16:126；援助章 110:3）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』1189、2739、3015、3046、3166、6013。sunnah.com/bukhari

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』。

歴史書と伝記

バハーウッディーン・イブン・シャッダード『スルタンの珍しき話とユースフの美徳』。

イマードゥッディーン・イスファハーニー『聖都征服におけるクッス的雄弁』。

イブン・アル＝アスィール『完史』。

アブー・シャーマ『二つの園の書』。

イブン・ハッリカーン『名士列伝』（サラーフッディーン伝）。

Wikipedia「Saladin」。en.wikipedia.org/wiki/Saladin

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 20 巻：ヌールッディーン・ザンギーまで。quranscience.my/#pahlawan

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience